

様式第2号

通勤災害認定請求書		* 認定番号	
地方公務員災害補償基金 京都府 支部長 様		請求年月日 令和2 年 3 月 2 日	
下記の災害については、通勤により生じたものであることの認定を請求します。		(〒●●●●—●●●●) 請求者の住所 京都市上京区下立売通新町西入1-1	
		フリガナ 姓 名 京都 太郎	
		被災職員との続柄 本人	
被災職員に関する事項	1 所属団体名 京都府〇〇事務組合		フリガナ 京都 太郎
	〇〇課 〇〇係 所属部局名		☒ 男 ☐ 女
	(電話番号 000-000-0000)		昭和44年 2 月 23 日生 (47 歳)
	職 名 課長補佐 (事務) ☒ 常 勤 ☐ 令第1条職員		共済組合員証・健康保険組合員証記号番号 12 34 第 123456 号
	災害発生の日時 令和2 年 2 月 26 日 (金 曜日) 午前 8 時 0 分頃 午後		
	災害発生の場所 〇〇町字〇〇 国道〇号線〇〇交差点		
	傷 病 名 頸椎捻挫		
傷病の部位及びその程度 頸部 約3週間の通院 共済組合員証等の使用 (有・無)			
* 受理 (到達した年月日)	所 属 部 局 令和2 年 3 月 4 日	任 命 権 者 令和2 年 3 月 10 日	基 金 支 部 年 月 日
* 認 定	年 月 日 ☐ 該当 ☐ 非該当	* 通 知	年 月 日

- 〔注意事項〕
- 1 請求者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入する、又は該当する箇所を○で囲むこと。
- 2 「1 被災職員に関する事項」の欄の「職名」は、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
- 3 この様式において「通勤」とは、職員が、勤務のため、住居と勤務場所との間を、合理的な経路及び方法により往復することを行い（公務の性質を有するものを除く。）、職員が、この往復の経路を逸脱し、又はこの往復を中断した場合においては、その逸脱又は中断の間及びその後の往復は、上記の通勤には該当しないこと。
ただし、その逸脱又は中断が、日常生活上必要な行為であって総務省令で定めるものをやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合は、その逸脱又は中断の間を除き、この限りでないこと。
したがって、「2 災害発生の状況等」の欄は、災害が上記の通勤により生じたものであることが明らかとなるよう、その状況を記入すること。
- 4 「2 災害発生の状況等」又は「*5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、当該欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。

2	(1) 災害発生の日の勤務開始（予定）時刻又は勤務終了の時刻	午前 午後	8	時	30	分頃
	(2) 災害発生の日に住居を離れた時刻	午前 午後	7	時	30	分頃
	(3) 災害発生の日に勤務場所を離れた時刻	午前 午後		時		分頃
	(4) 災害発生の状況					
	災害発生 の 状況 等	私は自家用車で通勤していますが、2月26日は午前7時30分に自宅を出発し、国道〇号線を職場に向かって				
		北進していました。午前8時00分ごろ、〇〇交差点の信号灯（赤）に従って停車したところ、後続してきた				
		ワンボックス車に追突されました。追突の瞬間、頭が後方に引っ張られるような感じでヘッドレストに				
		打ち付けられ、頸部に強い衝撃を受けました。				
		私は直ちに警察と所属長に通報し、その後、次第に頸部の痛みが強くなってきたことから、〇〇病院を				
		受診し、治療を受けました。				
なお、事故現場は通勤届で届出済みの経路上であり、交通手段も通勤届と相違ありません。						
* 3	1及び2については、上記のとおりであることを証明します。					
長所 の 証 明 局 の	令和2 年 3 月 9 日		所属部局の	名 称 京都府〇〇事務組合		
				所 在 地 〇〇市〇〇町1番地1		
				長の職・氏名 〇〇課長 大石良雄		
4 添付する資料名	☒ 診断書 ☒ 現認書又は事実証明書 ☒ 交通事故証明書 ☒ 第三者加害報告書 ☒ 通勤届の写 ☐ 時間外勤務命令簿の写 ☐ 出勤簿の写 ☐ 見取図 ☒ 経路図 ☐ 関係規程 ☐ 定期健康診断記録簿の写 ☐ 既往歴報告書 ☐ X線写真 ☐ 写真 ☐ 示談書 ☒ その他					
* 5	9 1 6 通勤による災害と認めます。					
任命権者の意見	令和2 年 3 月 19 日					
	任命権者の職・氏名 京都府〇〇事務組合管理者 吉田茂雄					

- 5 「2 災害発生の状況等」の欄の（1）には、災害が出勤の際に生じたものである場合は、勤務開始（予定）時刻を、災害が退勤の際に生じたものである場合は、勤務終了の時刻を記入すること。また、（2）は、災害が出勤の際に生じた場合に、（3）は、災害が退勤の際に生じた場合にそれぞれ記入すること。
- 6 「* 3 所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱い、基金に相談すること。
- 7 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の9種類の区分番号を記入すること。
- 1 義務教育学校職員 2 義務教育学校職員以外の教育職員 3 警察職員 4 消防職員
5 電気・ガス・水道事業職員 6 運輸事業職員 7 清掃事業職員 8 船員 9 その他の職員
- 8 「* 5 任命権者の意見」の欄の□は、下記の16種類の区分番号を記入すること。
- 01 医師・歯科医師 02 看護師 03 保健師・助産師 04 その他の医療技術者 05 保育士・寄宿舍指導員等
06 船員 07 土木技師・農林水産技師・建築技師 08 調理員 09 運転士・車掌等 10 義務教育学校教員
11 義務教育学校以外の教員 12 その他の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃職員 16 その他の職員
- 9 年月日の記載には元号を用いる。

診 断 書

被災職員	住 所	京都市上京区下立売通新町西入1-1		
	氏 名	京都 太郎	昭和	平成 44 年 2 月 23 日生
傷 病 名	頸部捻挫			
経 過	負傷年月日	令和2年 2 月 26日	初診年月日	令和2年 2 月 26日
	発病年月日	年 月 日	入院年月日	令和2年 2 月 26日
診断時において治療(休業)を要すると考えられる期間	入 院	なし		
	通 院	3 週間		
	うち休業	1 週間		
X線等検査所見	X-P、MRIにて骨等に異常認めず			
診 療 内 容	湿布処方、鎮痛剤処方、当面安静を要す			
既往症・素因	なし			
意 見	〔 災害(負傷等)と傷病との関係、その他参考事項を記載してください。 なお、災害と関係のない傷病が診断されている場合はその傷病名を付記してください。 〕			
	交通事故にて頸部痛を発症。			
現在又は最終診療時の状態(該当する□にレ印をつけて下さい)				
令和2年 2 月 26日現在 ☐ 治ゆ ☐ 中止 ☒ 継続中 ☐ 転医				
上記のとおり診断します。 令和2年 2 月 26日				
医療機関 所在地 ○○市○○町1番地1 名 称 ○○市立病院 医師氏名 ○ ○ ○ ○				

現 認 書
事 実 証 明 書

令和2年3月2日

地方公務員災害補償基金京都府支部長 様

現認者

所属 〇〇課〇〇係

又 は

職名 〇〇課長

所属長

氏名 大石 良雄

下記のとおり現認（事実確認）しましたので報告します。

記

被災職員	(所属) 〇〇課〇〇係 (氏名) 京都 太郎
災害発生日時	令和2年2月26日(水) 午前・後 8時00分頃
災害発生場所	〇〇町字〇〇 国道〇号線〇〇交差点
災害発生状況	(具体的に) 1. 当日午前8時10分ごろ、京都太郎から課長あてに、出勤途上に後続車に追突される事故が発生した旨の連絡を受けた。 2. 警察へ通報済みであることを確認するとともに、双方の負傷状況を確認したところ、職員について頸部に痛みがあるとのことだったため、適切な事故処理及び医療機関受診を指示。 3. 負傷の程度は全治3週間の頸椎捻挫であり、事故前に頸部を痛めていた事実はなく、本件事故に起因する負傷であると考えられる。 4. 通勤の方法(自家用車)及び通勤経路は、通勤届であらかじめ届け出済みのものである。 事実証明書の場合 所属長名で作成してください。 所属長が災害発生を知った時の状況を具体的に記入してください。 (例) 〇時〇分に被災職員から報告を受けました。

- (注) 1 現認した者がいない場合には、事実証明書を提出すること
2 事実証明書は、災害の状況を確認し、所属長が記載すること

事故発生状況報告書

交通事故の場合に作成

甲	保険証明書番	自賠任意	第〇〇〇〇〇号	当事者	甲(甲車の運転者)	氏名 甲田 太郎 (電話) 000-000-0000	
	自動車番号	京都33	第〇〇〇〇〇号		乙(被災職員)	氏名 京都 太郎 (電話) 000-000-0000	運転 同乗 歩行・その他
		さ〇〇〇〇					
天候	晴・曇・雨・雪・霧			交通状況	混雑 普通 閑散	明暗	昼間・夜間・明け方・夕方
道路状況	舗装	舗装 舗装していない		歩道(両・片)	有 無	直線・カーブ	平坦 坂
	見通し	見通し 悪い		積雪・凍結			
信号又は標識	信号	有 無		一時停止標識	有 無	その他標識 ()	
速度	甲車 30 km/h (制限速度 30 km/h)、甲車以外の車 0 km/h (制限速度 30 km/h)						
事故現場における自動車と被害者との状況を図示してください	事故発生状況略図 (道路幅をmで記入してください。)						
書上い記て図くのだ説さ明いを	甲は、普通貨物自動車を運転して、国道〇号線を南進中、府道〇号線の交差点手前で信号停止していた乙の運転する普通乗用自動車に追突したもの。						

経路図

- 通勤届の経路
- 被災時の経路
- 被災後の予定経路



- 市販の縮尺地図の写しの上に記入してください。
- 自宅、勤務場所、災害発生場所の3地点を明記し、被災当日の経路を赤線で記入してください。災害発生場所を×印で表示し、そこまでの経路を実線で、そこからの予定経路を点線で表示するなど、分かりやすく記入してください。
- 途中、逸脱がある場合、通常の経路との違いが明確に分かるように記入してください。

腰痛等関係調書

所 属	京都府〇〇事務組合〇〇課		職・氏名	課長補佐 京都太郎 (47 歳)	
身体状況	身長160・0 cm	体重 50・0 kg	健康状態 良		
被災状況	発症時の動作		自動車運転中、交差点において赤信号に従って停車中に 後続車に追突されたもの		
	腰・頸部に かかった負担	取扱物の 名称及び 内容			
			重量 kg	大きさ（縦 cm・横 cm・高さ cm）	
		特 記			
腰部・頸部に 係る既往病歴	傷 病 名	発症年月日	原 因 及 び 療 養 状 況	治ゆ年月日	医 療 機 関 名
			特になし		
上記の事項は、事実と相違ないことを確認しました。					
令和 2 年 3 月 4 日					
地方公務員災害補償基金京都府支部長 様					
所属長 〇〇課長 大石良雄					

(注) 1 この調書は、腰部・頸部に係る傷病の認定請求をする時には、必ず添付してください。
2 記入欄が不足する時には、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、特に「既往病歴」の欄については、できるだけ詳細に記入してください。
3 腰部・頸部に係る既往病歴がない場合は、「なし」と記入してください。

任命権者意見書

(所属長意見書)

令和2年3月4日

地方公務員災害補償基金京都府支部長 様

任命権者 団体名
(所属長) (所属名) 京都府〇〇事務組合
職・氏名 〇〇課長 大石良雄

下記のとおり意見を付し報告します。

記

被災職員	(所属) 京都府〇〇事務組合〇〇課 (氏名) 京都太郎
災害発生日時	令和2年2月26日(金) 午前・午後 8時 00分頃
災害発生場所	〇〇町字〇〇 国道〇号線〇〇交差点
災害発生状況	本件は、通勤途上の災害であるが、自家用車による通勤については、通期届により届け出済みであり、経路についても逸脱・中断はなく合理的と認められるので、通勤災害に該当するものとする。 なお、本件事故は一方的な被害事故であるが、事故防止についてはさらに徹底をしたい。 また、加害者甲田太郎は本件事故の責任を認めており、自賠償保険により損害賠償に応じる意向であるので示談交渉はスムーズに行われる見込みである。

(注) この意見書は、任命権者(所属長)が具体的に意見を付す必要がある場合に提出してください。